

令和7年度前学期 社会人公開授業

科目名	社会的養護B
開設学校名	岐阜聖徳学園大学短期大学部
講師	短期大学部 准教授 藤田 哲也（ふじた てつや）
初回予定日	2025年4月10日（木）
授業時間	毎週木曜日 2時限目 10時40分～12時10分（全15回）
主会場	岐阜聖徳学園大学 岐阜キャンパス 2号館4階 245講義室
聴講方法	対面授業
科目内容	児童福祉施設等の事例をもとに、ジェノグラムやエコマップ作成の基本を学びます。また、事例検討のなかで支援の基本となるポイントをおさえ、様々な援助技術の活用について考えていきます。さらに自立支援計画（もしくはアセスメントシート）を策定していき、グループディスカッション等を通して子どもの最善の利益について考えていきます。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・初回以降の授業のお知らせは学内システムでお知らせします。 ・この講義はテキストが必要です。（4月に学内で購入することができます） 書名：みらい×子どもの福祉ボックス、著者：社会的養護II【第2版】喜多一憲・堀場純矢、出版社：みらい、ISBN：9784860156084 ・学年暦により、5月1日（木）は休講日となるため、本講義は行いません。 ・実習等により開催日が変更になる可能性があります。休・補講（対面・非対面：オンデマンド課題）となる場合は連絡いたします。 ・自家用車による通学可。事前にメールでご相談ください。駐車場許可証を発行いたします。

授業の開催日程

回	日付	講義テーマ
第1回	4月10日	<はじめに>：オリエンテーションにて講義内容や進め方等について説明する。『働きやすい施設とはどのような施設だろう』について考える。（テキストP21～34参照）
第2回	4月17日	<社会的養護における支援内容①>：アドミッションケアからアフターケアまでの支援の流れを理解する。（テキストP35～40参照）
第3回	4月24日	<社会的養護における支援内容②>：インケアの具体的な内容（日常生活支援・治療的支援・自立支援）について理解する。（テキストP41～51参照）
第4回	5月8日	<ジェノグラムとエコマップ①>：家族像をとらえる時に必要である、ジェノグラムとエコマップの書き方について学び、事例をもとに活用方法を学ぶ。（テキストP62～63参照）
第5回	5月15日	<ジェノグラムとエコマップ②>：ジェノグラムとエコマップを活用し事例検討をおこなう。（テキストP62～63参照）
第6回	5月22日	<自立支援計画の策定①>：事例を基に児童自立支援計画（もしくはアセスメントシート）を策定する。策定の意味を考えその方法について学んでいく。（テキストP52～67参照）
第7回	5月29日	<自立支援計画の策定②>：事例を基に児童自立支援計画（もしくはアセスメントシート）を策定する。策定にあたり、課題を明確にして目標設定をする。（テキストP52～67参照）
第8回	6月5日	<自立支援計画の策定③>：事例を基に児童自立支援計画（もしくはアセスメントシート）を策定する。社会資源との連携をふまえ支援内容について検討する。（テキストP52～67参照）
第9回	6月12日	<社会的養護と相談援助①>：バイステックの7つの原則を確認し、対人援助職としての基本を身に付ける。（テキストP74～79参照）

第 10 回	6 月 19 日	<社会的養護と相談援助②>：対人援助職としての必要となりうる様々な援助技術について学び体験する。
第 11 回	6 月 26 日	<事例検討①>：入所してくる子どもたちの状況を把握し、グループ内で意見交換をしながら支援内容を確認していく。(乳児院)
第 12 回	7 月 3 日	<事例検討②>：入所してくる子どもたちの状況を把握し、グループ内で意見交換をしながら支援内容を確認していく。(児童養護施設)
第 13 回	7 月 10 日	<事例検討③>：入所してくる子どもたちの状況を把握し、グループ内で意見交換をしながら支援内容を確認していく。(児童心理治療施設)
第 14 回	7 月 17 日	<社会的養護の今後①>：小規模化・地域分散化が進み、家庭養護推進されていく中での課題を明確にしていく。(テキスト P168～175 参照)
第 15 回	7 月 24 日	<社会的養護の今後②>：新しい社会的養育ビジョンについて考える。講義のまとめ。